

英語科

1 年

※DF 特太ゴシック体は学力向上関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>1学期に3回、スペリング・コンテストを実施した。アルファベットはよく書けている。小学校で英単語をインプットしてきてはいるが、書く練習はあまりしていない。毎月実施して書ける英単語の数を増やしたい。</p> <p>リスニング、リーディングについては定期考査の結果から基本的な技能が身につけていると考えることができる。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>自己紹介を英文で書くことができた。まとまりを意識して書くよう指導している。今後、様々な表現を学習し、それを活用して、まとまりのある文章を書くことができるようにしていきたい。</p> <p>定期考査の結果から、リスニング、リーディングについては技能を活用し、思考・判断することができていることがわかる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ほとんどの生徒が課題に真面目に取り組んでいる。定期考査後、1学期にできるようになったこと、今後できるようになりたいことを書かせたところ、ほとんどの生徒が学習のねらいを理解し、今後の課題を見つけることができた。2学期、目標としたことができるよう支援していきたい。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p><u>毎回の授業では副教材『BINGO』を使用し英単語のインプットを増やす。2学期以降もスペリングコンテストを実施し書ける英単語の数を増やしていく。</u></p> <p><u>英語を読んだり聞いたりする機会を多く設定し、読解力の向上に努める。</u></p> <p>中学卒業時に英検準 2 級以上の英語力を身につけさせることを目標にする。</p> <p>1 学年修了時には 80%以上の生徒が英検 4 級以上の取得または同等の英語力の習得を目指す。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p><u>初歩的な英語を用いて自分のことを表現できるようにする。少人数の特性を活かし、またALTとも協力をして重点的に指導する。また文と文や内容のつながりにも留意させる。</u></p> <p><u>ペアで会話をし、そこで得た情報を第三者に伝える活動を加えていく。少人数へ向けた発表から大人数へ向けた発表へと段階を踏みながら練習していく。また、パフォーマンステストも適宜実施し、個々の思考力・判断力・表現力を振り返り、改善する機会を設ける。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p><u>授業をなるべく英語で進めるとともに、生徒が互いにコミュニケーションをとる機会を多く設ける。また、パフォーマンスの機会も多く設定し、主体的に自分の意見を言えるようにしていく。</u></p> <p>アクティブラーニングを意識して生徒同士が学び教え合う活動を取り入れるなどの工夫をする。</p> <p>「ねらい」を明示して、自発的に学習する力を育成する。また、定期考査後などに振り返りの時間を設け、生徒が自己調整できるようにしていく。</p>